



文 武 両 輪

～勉強も行事も部活動も～

令和5年 6月16日

【文責】校長 蔦川 誠

掴め夏の栄光！ 夏季大会に向けて

6月15日（木）、市中体夏季大会の壮行式を行いました。

総合文化部のリードのもと応援生による力強い応援と吹奏楽部の力強い演奏を受けて、選手団は必勝を期して壮行式に臨みました。運動部の3年生にとっては夏季大会は部活動の総決算の大会となります。これまで楽しいことばかりではなく、ハードな練習などに辛く苦しい思いをしたこともあったことと思います。

夏季大会では、今まで支えてくれた仲間や後輩、保護者の方や先生方への感謝を胸に、ベストを尽くしてくれることを期待しています。

頑張れ、長者中生！！

以下に壮行式でのお話（激励の言葉）を載せます。

（前略）

それでは、試合や競技に臨む心構えを、3つお話します。

1つ目は、「強い気持ちをもつこと」です。

接戦や競り合いで最後に勝負を決めるのは、強い気持ちです。最後は技術どうのこうのではなくて、相手よりも「勝ちたい」という強い気持ちが、少しでも上回った方が勝ちます。

個人競技でもよい結果を出すには「優勝したい、入賞したい」という強い気持ちが絶対に必要です。

2つ目は、「最後まであきらめないこと」です。

たとえ、試合の途中で相手にリードされていても決して「あきらめない」で粘り強く戦ってください。粘り強く戦っているうちに、逆転のチャンスは必ずやってきます。途中であきらめたらそれでおしまいです。

3つ目は、「自分と仲間を信じること」です。

試合中や競技中は、一人一人が自分と仲間を信じて、もっている力を最大限出し切ることが、最も大切です。今まで努力してきたことを、悔いを残さないように、この一瞬、この一球、この試合ですべて出し切ってきてください。もしも試合中に仲間のミスが出て、それをカバーする、本当の意味でのチームワークを発揮してください。

以上、「強い気持ちをもつ」「最後まであきらめない」「自分と仲間を信じる」この3つのことを意識して戦ってきてください。

健闘を祈ります。

最後に、お願いを2つ。

1つ目、応援の皆さんにお願いします。今回は声を出しての応援ができます。全力で応援して選手と一緒に戦って、ピンチを乗り越えチャンスをものにできる応援をお願いします。きっと皆さんの応援が大きな力となります。また、1、2年生は、3年生の先輩たちの戦いぶりをしっかりと目に焼き付けてきてください。夏の大会に賭ける先輩たちの様々な思いをしっかりと感じ取ってくれればと思います。

2つ目、全校生徒にお願いします。競技中はもちろん、応援態度、後始末などマナーの面でも、市内ナンバーワンを目指しましょう。爽やかな、長者中生の姿を期待しています。

